

茨城県農産物販売推進東京本部情報

令和2年(2020年)9月

1 東京都中央卸売市場(2020年1-8月)の青果物取扱高について

① 全体の入荷量は約120.3万tで前年比2%減、金額は約3658億円と前年比5%増となった。

② 茨城県産の入荷量は約14.4万tで前年比1%減、金額は約402億円と前年比14%増となった。

(金額の内訳は、野菜約333億円、果実約69億円。前年同期比で野菜18%増、果実前年並、平年同期比で野菜6%増、果実前年並。)

金額が【増加】した品目(前年対比)：ミニトマト(204%)、きゅうり(154%)、とうもろこし(151%)、こまつな(150%)、
くり(1803%)、豊水(273%)

金額が【減少】した品目(前年対比)：おおば(67%)、ねぎ(77%)、幸水(72%)

茨城県の青果物入荷量は平年比2%減(シェア11.9%)、取扱金額は同5%増(シェア11.0%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(8月計)			
	1~8月計	年間計	年間比	1~8月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	2020	1,203,050		143,538	←シェア(11.9%)		11.5%	9.1%	3.3%	
	2019	1,233,557	1,916,676	64.4	145,641	222,375	65.5	11.7%	7.5%	3.5%
	(前年比)	98		99		シェア(11.8%)				
	平年値※	1,257,037	1,954,409	64.3	146,713	227,118	64.6			
	(平年比)	96		98		シェア(11.7%)				
金額	2020	365,800		40,246	←シェア(11.0%)		7.8%	4.6%	6.2%	
	2019	347,002	534,568	64.9	35,201	52,199	67.4	7.9%	4.3%	6.6%
	(前年比)	105		114		シェア(10.1%)				
	平年値※	369,191	565,288	65.3	38,460	57,490	66.9			
	(平年比)	99		105		シェア(10.4%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は2015-2019年の5か年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》
2019年実績
(1~12月計)

茨城県：金額シェア(9.8%)、数量シェア(11.6%)
千葉県：金額シェア(7.2%)、数量シェア(10.5%)
北海道：金額シェア(5.8%)、数量シェア(11.0%)
栃木県：金額シェア(6.0%)、数量シェア(3.2%)

2 東京都中央卸売市場(令和2年8月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

()内は前年対比

野菜類の入荷量は約7.1千トン(91%)、単価は391円(121%)、金額は約28億円(111%)

果実類の入荷量は約1.7千トン(72%)、単価は462円(123%)、金額は約8億円(88%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の2015~2019年同月の5か年平均値との比率

	品目	数量(t)				単価(円/kg)				金額(千円)		
		前年比	平年比	平年比(全国比)	前年比	平年比	平年比(全国比)	前年比	平年比			
野菜	ねぎ	897	58	67	98	298	132	102	108	266,950	77	68
	ピーマン	509	106	133	125	491	126	132	123	249,891	134	176
	こまつな	819	139	168	135	295	108	101	98	241,575	150	169
	れんこん	353	88	75	76	621	105	109	109	219,391	92	82
	野菜総計	7,111	91	92	95	391	121	118	121	2,777,715	111	109
果実	日本なし類	1,424	69	68	75	479	125	132	138	681,548	86	90
	果実総計	1,745	72	71	77	462	123	127	135	805,494	88	90

(野菜)

梅雨明けにより8月は好天・高温となった。

レタスやピーマン、ナス等の品目は梅雨時期の天候不良による数量不足だったが好天により数量が回復し、前月より単価を下げての販売となった。一方、キュウリやトマトは長雨の影響で樹勢が弱く、花落ちにより数量が減少し、相場は堅調に推移した。

(果実)

8月上旬は旧盆需要により果実の引き合いが強く各品目の数量は増えたものの、梅雨明けからの急激な気温上昇により品質が低下した品目もみられた。

日本なし類は、開花時の低温や長雨からの急な高温が影響し、みつ症や黒星病が発生したことによって数量減の単価高での販売となっている。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出